

公開実用 昭和61-107340

⑤

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭61-107340

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)7月8日

A 47 C 7/02

7309-3B

7/40

7309-3B

B 60 N 1/00

7332-3B

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 車輛用シート

⑯ 実 願 昭59-192506

⑰ 出 願 昭59(1984)12月18日

⑱ 考 案 者 大 川 修 坂戸市山田町10-20

⑲ 考 案 者 前 田 稔 新座市畑中1-11-32

⑳ 考 案 者 鈴木 芳 男 川越市の場1334-1

㉑ 出 願 人 東京シート株式会社 朝霞市栄町3丁目7番27号

㉒ 出 願 人 本田技研工業株式会社 東京都渋谷区神宮前6丁目27番8号

㉓ 代 理 人 弁理士 竹下 和夫

明 細 書

1. 考案の名称

車 輛 用 シ ー ト

2. 実用新案登録請求の範囲

左右に独立した土手部の内辺間内にネットを張設してなることを特徴とする車輛用シート。

3. 考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本考案は、車輛用シートの改良に関するものである。

従来の技術

従来、車輛用シートを構成する場合、予めパッドを座者の座り易い立体形状に成形し、それをシートフレームに載置すると共に端末をシートフレームに止着する表皮材で表面を被包するのが通常である。

考案が解決しようとする問題点

然し、この車輛用シートでは表皮材をパッドの立体形状に整合させて被せるのに手間が掛りしかも座部乃至背もたれ平面から土手部に亘る表皮材

に皺が生じて美感を損ない、更にはパッドが座部乃至背もたれ相当部分と左右の土手部相当部分とを一体に成形したもので形成されているため、大きな重量を有して車輛全体として重量を増す一つの原因になっている。

問題点を解決するための手段

本考案に係る車輛用シートにおいては、左右に独立した土手部の内辺間内にネットを張設することにより構成されている。

作用

この車輛用シートでは、左右の土手部以外にパッドを配置しないため極めて軽量で安価なものに構成でき、しかもネットで通気性を付与できると共にネットの網目を通して乗員の視野も拡大できるようになる。

実施例

以下、添付図面を参照して説明すれば、次の通りである。

この車輛用シートは、いずれもネット張りで形成したシートクッションC、シートバックBを用



いて構成されている。そのシートクッションC，シートバックBの各土手部1a，1b，2a，2bは左右で互いに独立させて形成されており、夫々を枠組み成形したシートフレーム3（シートバック側のみ図示）の軸線上に所望間隔をへだてて固定することにより取付けられている。この各土手部1a，1b，2a，2bはパッドを表皮で被包して成形したもので、そのパッド内にシートフレーム3の軸線を挿入することにより固定できる。これら左右の土手部1a，1b，2a，2bの内辺間内には、ネット4，5が張設されている。その各ネット4，5は適宜大きさの網目で形成したものを用いることができ、端末側をシートフレーム3の軸線上に巻付け止着し或いは土手部1a，1b，2a，2bの内辺を縫形する時に表皮の端末縫着と共に内部に挿入して合せ縫いすれば各土手部1a，1b，2a，2bの内辺間内に張設配置することができる。このネット4，5の占有面積は標準的な体型の乗員を基準にして臀部の外側乃至背中の左右側を土手部1a，1b，2a，2bで支持できる程度にするとよく、乗員の荷重が



掛る部分を土手部1a, 1b, 2a, 2bで受けるようにするのが好ましい。

このように構成する車輛用シートでは、土手部1a, 1b, 2a, 2bがパッドを有するのみであり、その中央部分はネット4, 5を張設することにより構成されている。従って、極めて軽量に形成できると共に、パッドの材料費を大幅に削減して安価に形成できるようになる。また、中央部分のネット4, 5は座者の臀部から背中に亘って通気性を付与できるため汗やムレ等の発生を防止できることにより座り心地を良好なものにし、更に後部乗員が前方の計器類等を見るときや前部乗員が後部座席側をみるときに網目を通して視野の確保を可能にする。

なお、上述した実施例ではシートクッションC, シートバックBを共にネット張りのもので構成したが、そのいずれか片側をネット張りのもので構成してもよい。

考案の効果

以上の如く、本考案に係る車輛用シートに依れ

ば、軽量で安価なものに形成できると共に、座り心地を良好にしてしかも今まで見ずらかった車内等の視野の拡大を可能にするものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案に係る車輛用シートの斜視図、第2図は同シートにおけるシートクッションの背面図である。

1a, 1b, 2a, 2b: 土手部、4, 5: ネット。

実用新案登録出願人 東京シート株式会社

同

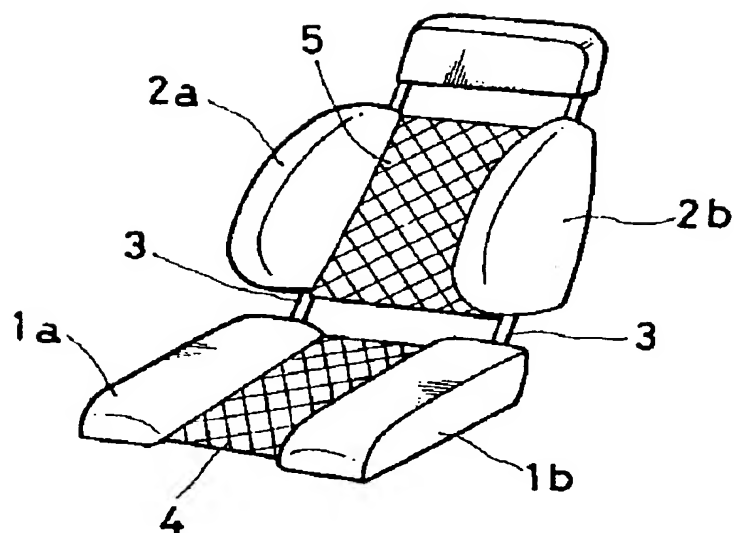
本田技研工業株式会社

代理人 弁理士 竹 下 和 夫



1a,1b,2a,2b: 土手部
4,5: ネット

第 1 図



第 2 図

